

進路指導部だより

道しるべ

天王みどり学園 進路指導部

第133号

平成29年3月9日発行



地域の一員として、一人一人が輝き、進んで社会参加できる児童生徒の育成



別れは新しい出会いの始まり



教頭 根 義 鎮

「月日は百代の過客（はくたいのかかく）にして、行きかふ年もまた旅人なり。」かの有名な奥の細道の序文です。松尾芭蕉は人生を旅にたとえ表現しています。月日の流れは速いもので、ついこの間4月に新学期が始まり、入学式があったかと思っておりましたが、いつの間にか卒業式のシーズンとなっていました。

長い人生の中で学校生活はほんの一時ではありますが、その中で様々な出会いがあったと思います。新しい友達との出会い。様々な考えを持った友達と出会い学習していく中で、たまには意見がぶつかり合って対立したこともあったかもしれません。でも、そのようなことがあったからこそ、より仲間のことを理解し、親密感が増えていったでしょう。特に、高等部生であれば、ここで生涯の友を見つけることができたかもしれません。教師との出会い。担任を始め様々な先生に出会い、様々な教えを受けてきたでしょう。もしかしたら将来にわたっての人生の師に出会えたかもしれません。そのほかにも様々な出会いがあったはずですが、卒業は別れのシーズンでもあります。特に高等部生はこれから社会へ旅立つこととなります。現場実習等で、働くことの大変さは経験していると思いますが、社会という所は結構大変なところですが、皆さんが今まで学校で勉強してきたことを思い出しながら臨機応変に対応していっていただければと思います。

皆さんはまだ旅の途中です。また新たな出会いがあると思います。その出会いを大切に、力強い足取りで未来に向かって歩んでもらいたいと思います。

最後に私がノートに書き留めている偉人の言葉を紹介して終わりとします。

- ・努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。（井上 靖）
- ・人生に失敗がないと、人生を失敗する。（斎藤茂太）
- ・できるけどやらないだけだと自分に言い聞かせている間は「できない」ということを別の表現で言っているに過ぎない。（リチャード・P・ファイン）



高等部3年生の進路決定状況

今年度の高等部卒業生の進路状況です。



就職（一般就労）	<ul style="list-style-type: none">株式会社北杜秋田聖徳会（旭南老人デイサービスセンター）
障害福祉サービス利用	<ul style="list-style-type: none">すまいる飯田川つくし苑（2）潟上天王つくし苑（5）南秋つくし苑（2）ふきのとうげんきハウス下新城就労支援センターこまち大潟つくし苑ウェルビューいずみ

すてきな社会人になるために～小・中学部からできること

社会人に向けて、小・中学部から身につけておきたいこと、がんばってほしいことをお伝えします。

① 挨拶

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」。自分から、元気よく挨拶できていますか？

② 言葉遣い

「です」「ます」をつけて話せていますか？

③ 体力づくり

作業はほとんど立って行います。長い時間立って作業できる体力をつけましょう。



④ 電車・バスの利用

家からすぐのところに職場があるとは限りません。春休み、チャレンジしてみませんか？



ちょっとお耳に！⑤ ～実習先での悲劇～

10年も前のことです。高等部2年生の担任をしていたころ、現場実習が決まり、生徒と母親と一緒に実習先の縫製会社に挨拶に行きました。

生徒が「今度お世話になる〇〇〇〇です。よろしくお願いします。」と玄関先で元気な声で挨拶をしました。当時の私は、「いいぞ。立派な挨拶だ！」と心の中でとても喜んでいました。しかし、その後に悲劇が起きました。

縫製会社の部長さんが「どうぞ中へお上がりください。」と言った瞬間、履いていた靴をそのままボーンと脱ぎっぱなし……。そしてスリッパに履き替えてスタスタと室内に入ってしまったのです。彼の靴は無残な状態でした。なんとその母親の靴も生徒と同じ状態……。私はそそくさと2足の靴を直しました。普段の家での様子が、そのまま実習先でおきたハプニングです。学校では脱いだ靴を靴箱に入れるので、なかなか指導できないのが現実です。このように小さい頃からの習慣が、実習先で如実に現れるので気を付けたいものです。（小川）